

2025年11月27日

報道関係各位

株式会社中日新聞社
株式会社中日ドラゴンズ
株式会社ナゴヤドーム

中日ドラゴンズのファーム拠点移転

2030年代前半目指し 移転先を来年度公募へ

株式会社中日新聞社、株式会社中日ドラゴンズ、株式会社ナゴヤドームの3社は、中日ドラゴンズのファーム拠点について、2030年代前半の移転を目指して検討を始めました。2026年度前半に移転先公募の募集条件を公表する予定です。

現在ファーム拠点としているナゴヤ球場（名古屋市東区）は、1948年に「中日スタジアム」として開場し、52年再建。96年まで中日ドラゴンズの1軍本拠地でした。ナゴヤドーム（現バンテリンドーム ナゴヤ、名古屋市東区）の完成を受けて97年から2軍本拠地となり、2003年には敷地内に選手寮「昇竜館」と屋内練習場も完成し、選手育成の拠点としてきました。しかし球場の老朽化が進んでおり、さらなる選手強化のための拡張余地も限られていることから、移転せざるを得ないと判断しました。

移転先は、東海地方の地方公共団体からの提案を募り、決める方針です。候補地の条件は、おおむね以下のように考えており、今後さらに詳細を詰めて参ります。

- ▽メイン球場、サブ球場、屋内練習場、選手寮、クラブハウス、駐車場などを整備するための十分な有効面積が確保でき、利用しやすい土地形状となっていること（参考土地面積：約6万㎡以上）
- ▽バンテリンドーム ナゴヤから車で原則1時間以内でアクセスできること。来場者が公共交通機関で無理なくアクセスできる場所であること
- ▽中長期的に安定したファーム拠点運営ができるよう、当該地方公共団体などから効果的な支援や協力がいただけること

以上